

事業報告書

2023 年度

社会福祉法人 慈協会

特別養護老人ホームサニーヒル
特別養護老人ホームサニーヒル ユニット
デイサービスセンターサニーヒル
ショートステイサービスサニーヒル
サニーヒル居宅介護支援センター

2023(令和 5)年度事業報告

理事長 遠山 洋一

施設長 岡寄 圭次郎

2023(令和 5)年度は、2022 (令和 4) 年のロシアのウクライナ進行に加え、大きくはイスラエルのガザ地区進行が勃発するなど、地政学的問題が山積、日本経済へもその影響が波及し、デフレ脱却・物価上昇の年でありました。

各事業部門の運営状況に関しては、まずショートステイサービスは前年度年と比べ、延べ利用人数 14,613 名(前年 14,717 名)で 104 名の減少に転じ、其の原因として、前施設(含病院)での新型コロナウイルス感染症クラスターの発生による、新規入所者の当施設への転移遅延が発生し、非効率的な入所業務事例が多発した事が推察されました。一方、従来型特養は延べ人数 18,989 名(前年 18,751 名)で 238 名増、またユニット型特養は利用延べ人数 14,361 名(前年 14,252 名)で 109 名増、デイサービスについては利用延べ人数 4,105 名(前年 3,496 名)で 609 名と大幅増となり、稼働率も 7 割に近づく事が出来ました。これも偏に、各居宅介護支援事業所への、弛まぬ紹介依頼や緊密な連携が、紹介者数の増加如いては各利用者数の増加に繋がり、其の重要性を前年度に引き続き、再認識致しました。居宅介護支援センターの支援件数に関しては、1,432 件(前年 1,626 件)で 194 件の減少に転じており、これもショートステイサービス同様、コロナ感染蔓延の影響による、各種サービスの利用控えが多分に影響しているものと考えられました。

この様な 2020 (令和 2) 年以來のコロナ禍でも、今迄通り嚴重な感染対策の下、理事長、施設長、幹部及び主要職員が、時流の問題点も含め定期的に話し合う、月例の運営委員会並びに経営会議を積み重ね、また職員全員参加によるプレナリーミーティングも 3 ヶ月毎に開催し、新しい知識や技能の修得に努めると共に、コロナ時代に見合った問題点や改善点を共有し、更なるサービスの向上を目指しました。その結果、今年度も引き続き、安定した施設運営となり、お陰様で黒字決算化する事が出来ました。

施設整備面では、1) デイサービス送迎車の補充(トヨタシエンタ)、2) 小型冷蔵ショーケース交換を行いました。今後は、1) B 棟、C 棟の経年劣化したエアコンの全取り換え、2) サービス向上の一環としての一般浴室設備の大規模改修、3) 風雨対策としての施設屋上外壁の再塗装、4) 災害対策用自家発電機器の設置など、予定が目白押しとなっております。

経営課題の一つである慢性的な介護人員不足に対しては、従来からの当施設理事長方針による「厚遇による求人」を引き続き継続すると共に、一方で当施設

の職域、配置を超えた、職員同士の協力による、柔軟なマンパワー補充体制を維持し、更には毎年 4~5 名の高校新卒者採用を目標とした、施設長の関連高校への定期的な訪問・依頼も従来通り続けて参ります。

最後に、2023(令和 5)年 5 月 8 日より新型コロナウイルス感染症の分類が 5 類へ移行となりましたが、当施設でも 2023(令和 5)年度は新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染症が発生し、深い悼み・反省の念と共に、更なる感染対策の学習・修得・改善・改革を以って、職員団結して再発防止に、日々最善を尽して参る所存です。今後とも、理事及び評議員の皆様のご経営に対するご意見やご協力、行政関係各位の方々のご指導、そして地域の皆様のご理解を賜り、更なる社会福祉貢献の一助となる様、邁進していく所存ですので、宜しく願い申し上げます。

I. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル）

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から、在宅・病院・他施設で入所待ちをしている方よりも、当施設のロングショートを利用しながら入所待ちをされている方をロングショートから長期入所への切り替えを積極的に行った。しかしながら、には、新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れ予定の病院や事業所等でも新型コロナウイルス感染症の発生した影響で新規利用者を受け入れるまでも時間がかかってしまった。そういった中でも、令和4年度よりも利用日数は昨年度より174増となった。入院された方の空きベッドを有効活用し、ショートステイを希望される方への空床利用をスムーズに提供することができた。

要介護度別の状況

令和6年3月31日

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	0	1	4	7	5	17
女（人）	1	0	4	22	8	35
実数（人）	1	0	8	29	13	52
割合（％）	2%	2%	15%	56%	25%	100%

令和4年度及び令和5年利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度（人）	52	53	52	53	53	52	53	54	52	45	48	48	615
令和5年度（人）	48	51	51	52	52	51	49	51	54	51	51	52	613

令和4年度及び令和5年度利用日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度（日）	1,560	1,612	1,560	1,612	1,612	1,560	1,612	1,560	1,520	1,409	1,557	1,577	18,751
令和5年度（日）	1,535	1,580	1,556	1,612	1,612	1,560	1,602	1,560	1,612	1,599	1,494	1,603	18,925

認知症高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅠの判断基準は、何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している状態。ランクⅡは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態。ランクⅢは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態。ランクⅣは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態。ランクⅤは著しい精神症状や問題行動が見られ、専門医療を必要とする状態が判定基準である。提供されるサービスの例としてはランクⅢより短期入所生活介護・通所介護の必要性があり、ランクⅣにおいては、介護保険施設の利用が適当と判断される。なお、ランクⅤの段階では専門医療機関(精神科)の受診が必要となる。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅠに属する利用者は0名で、ランクⅡに属する利用者は4名、ランクⅢは35名、ランクⅣは13名、ランクⅤに位置する利用者が0名(3月31日現在)となっている。

区分	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	Ⅴ	合計
男(人)	0	0	1	4	8	4	0	17
女(人)	0	0	3	7	16	9	0	35
実数(人)	0	0	4	11	24	13	0	52
割合(%)	0%	0%	8%	21%	46%	25%	0%	100%

障害高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅥは何らかの身体障害等を有するが、日常生活はほぼ自立し、一人で外出する者が該当。ランクⅦは「準寝たきり」に分類され、「寝たきり予備軍」ともいふべきグループであり、いわゆるhouse-boundに相当する。ランクⅧは「寝たきり」に分類されるグループであり、いわゆるchair-boundに相当する。ランクⅨはランクⅧ同様「寝たきり」に分類されるが、ランクⅧより障害の程度が重い者のグループであり、bed-boundに相当する。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅥに属する利用者が0名、Ⅶが4名、Ⅷが38名、ランクⅨが10名(3月31日現在)となっている。

令和6年3月31日現在

区分	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	合計
男(人)	0	0	0	1	0	12	2	2	17
女(人)	0	0	0	3	2	24	0	6	35
実数(人)	0	0	0	4	2	36	2	8	52
割合(%)	0%	0%	0%	8%	4%	69%	4%	15%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

令和6年3月31日現在

区 分	入所者数	入 所 期 間					
		～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～	
～64歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	1
	計	1	0	0	0	0	1
65～ 69歳	男	4	2	1	0	1	0
	女	3	2	0	0	0	1
	計	7	4	1	0	1	1
70～ 79歳	男	3	3	0	0	0	0
	女	2	1	0	0	0	1
	計	5	4	0	0	0	1
80～ 89歳	男	8	6	2	0	0	0
	女	14	4	3	4	1	2
	計	22	10	5	4	1	2
90歳～	男	2	2	0	0	0	0
	女	15	5	5	0	1	4
	計	17	7	5	0	1	4
合 計	男	17	13	3	0	1	0
	女	35	12	8	4	2	9
	計	52	25	11	4	3	9
平均年齢 男性80.4歳 女性84.2歳 総数82.3歳							

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	29
木更津市	介護保険利用者	8
市原市	介護保険利用者	6
君津市	介護保険利用者	3
千葉市	介護保険利用者	1
富津市	介護保険利用者	2
四街道市	介護保険利用者	2
大田区	介護保険利用者	1

認知症高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の認知症高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅠ・ランクⅡa・Ⅱbが1名、ランクⅢaが27名、ランクⅢbが5名、ランクⅣが5名、ランクⅣが0名(3月31日現在)となっている。

前年度と比較するとランクⅢaがⅣやⅣなどに移行して認知症の重度の方が多くなっている。

そのため手間や時間がかかるようになるため、見守りや付き添いの必要性が多くなり、異食や突発的な動きなどに十分な注意が必要になっている。

令和6年3月31日現在

区分	正常	Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	合計
男(人)	0	0	0	1	3	2	3	0		9
女(人)	0	0	0	0	24	3	2	0		29
実数(人)	0	0	0	1	27	5	5	0		38
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	71.0%	13.2%	13.2%	0.0%		100%

障害高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の障害高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅣに属する利用者は0名、Ⅳが0名、Ⅳが28名、ランクⅣが10名(3月31日現在)となっている。

特徴としては、ランクⅣの利用者が73、7%と多く、「寝たきり」から「準寝たきり」のランクへと移行している。歩行が可能だが、見守りや付き添いが必要な入所者が多くなっているため、転倒などに十分注意する必要性が高くなってきているため、手間や時間がかかっている。車いすでも徘徊する利用者が増えているので、他利用者とのトラブルなどにも細心の注意が必要となっている。

区分	Ⅳ1	Ⅳ2	Ⅳ1	Ⅳ2	Ⅳ1	Ⅳ2	Ⅳ1	Ⅳ2	合計
男(人)	0	0	0	0	1	5	1	2	9
女(人)	0	0	0	0	2	20	5	2	29
実数(人)	0	0	0	0	3	25	6	4	38
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%	65.8%	15.8%	10.5%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

令和6年3月31日現在

区 分	入所者数	入 所 期 間				
		～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
65～ 69歳	男	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
70～ 79歳	男	2	0	2	0	0
	女	3	1	0	0	1
	計	5	0	0	0	0
80～ 89歳	男	6	5	0	0	1
	女	17	1	5	2	3
	計	23	0	0	0	0
90歳～	男	2	2	0	0	0
	女	9	2	1	0	1
	計	10	0	0	0	0
合 計	男	9	7	2	0	0
	女	29	4	6	2	5
	計	38	11	8	2	5

平均年齢 男性83.6歳 女性83.8歳 総数83.7歳

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	19
木更津市	介護保険利用者	4
市原市	介護保険利用者	7
君津市	介護保険利用者	1
千葉市中央区	介護保険利用者	1
千葉市緑区	介護保険利用者	1
横浜市	介護保険利用者	1
板橋区	介護保険利用者	2
東村山市	介護保険利用者	1
大田区	介護保険利用者	1

Ⅱ. 短期入所事業（ショートステイ）

総括

2023年度の稼働率は100%（前年比1ポイント減）で、前年度を上回る事ができなかった。理由としては新規受け入れ先（病院・施設）で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生してしまい、受け入れに時間がかかってしまい、稼働率が一旦減少したが、通年では稼働率100%を達成する事ができた。

100%を保てた要因としては、協力病院を始め、居宅支援事業所から継続的に利用者の紹介を頂いたほか、長期入所の方が入院されて空床となったベットをショートステイとして利用して頂いた事も稼働率が保てたと考えられる。更には昨年度、同様に袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市の四市で緊急ショートステイネットワーク事業からの受け入れもあった。要介護認定を受ける高齢者も年々増加傾向になっている為、長期的に利用するロングショートステイ利用の需要も多くなってきている。今後も、各居宅支援事業所のケアマネジャー宛に定期的な空き状況のお知らせをすることはもとより、入院等で予期せず空きベッドが生じた場合は、その都度電話、こまめに外部のケアマネジャーや近隣の医療機関のソーシャルワーカーに通知していき、空きベッドを有効に活用し稼働率の落ち込みを防ぎ、安定した稼働の確保に努めていく。

<年間利用状況集計>

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

利用人数	582人
利用延人数	14,195人（1日平均38.7人）
稼働床数	14,640床（1日40床×366日）
稼働率	100.0%
一人あたりの月間利用日数	24.3日

<月別利用状況>

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数（人）	50人	47人	48人	51人	50人	48人	49人	51人	49人	45人	48人	46人	582
利用日数（日）	1,182	1,173	1,165	1,221	1,283	1,176	1,178	1,191	1,183	1,169	1,105	1,171	14,197
稼働率（%）	102.0	97.0	100.0	103.0	107.0	101.0	99.0	102.0	99.0	98.0	98.0	94.0	100.0

※本頁中の人数及び利用者数は、予防給付・介護給付を合算したもの

シヨーストステイ要介護度別の状況

4月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	5	7	15	17	6	50
割合(%)	0.0	0.0	10.0	14.0	30.0	34.0	12.0	100.0

5月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	8	6	13	15	5	47
割合(%)	0.0	0.0	17.0	12.8	27.7	31.9	10.6	100.0

6月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	9	5	17	13	4	48
割合(%)	0.0	0.0	18.8	10.4	35.4	27.1	8.3	100.0

7月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	9	6	16	13	7	51
割合(%)	0.0	0.0	17.6	11.8	31.4	25.5	13.7	100.0

8月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	7	7	15	14	7	50
割合(%)	0.0	0.0	14.0	14.0	30.0	28.0	14.0	100.0

9月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	6	7	15	13	7	48
割合(%)	0.0	0.0	12.5	14.6	31.3	27.0	14.6	100.0

4月～9月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	44	38	91	85	36	294
割合(%)	0.0	0.0	15.0	12.9	31.0	28.9	12.2	100.0

10月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	6	8	15	13	7	49
割合(%)	0.0	0.0	12.2	16.4	30.6	26.5	14.3	100.0

11月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	7	9	16	13	6	51
割合(%)	0.0	0.0	13.7	17.6	31.4	25.5	11.8	100.0

12月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	5	10	15	13	6	49
割合(%)	0.0	0.0	10.2	20.4	30.6	26.6	12.2	100.0

1月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	7	12	15	7	45
割合(%)	0.0	0.0	8.8	15.6	26.7	33.3	15.6	100.0

2月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	7	11	10	14	6	48
割合(%)	0.0	0.0	14.6	22.9	20.8	29.2	12.5	100.0

3月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	7	11	9	13	6	46
割合(%)	0.0	0.0	15.2	23.9	19.6	28.3	13.0	100.0

10月～3月計

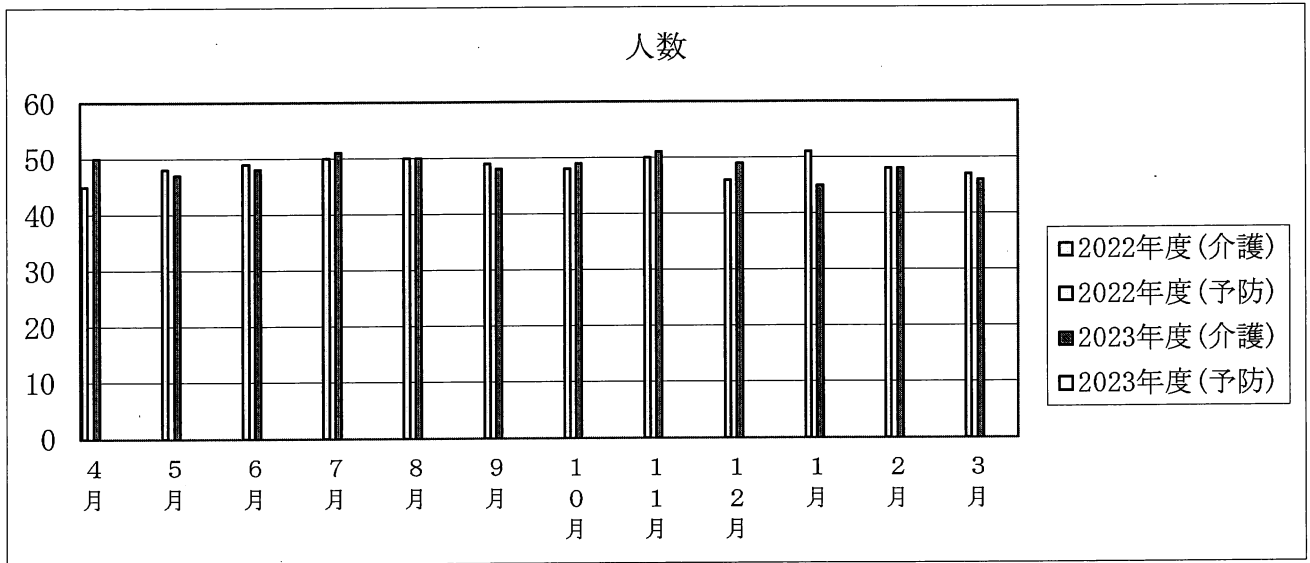
区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	36	56	77	81	38	288
割合(%)	0.0	0.0	12.5	19.4	26.7	28.2	13.2	100.0

4月～3月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	80	94	168	166	74	582
割合(%)	0.0	0.0	13.7	16.2	28.9	28.5	12.7	100.0

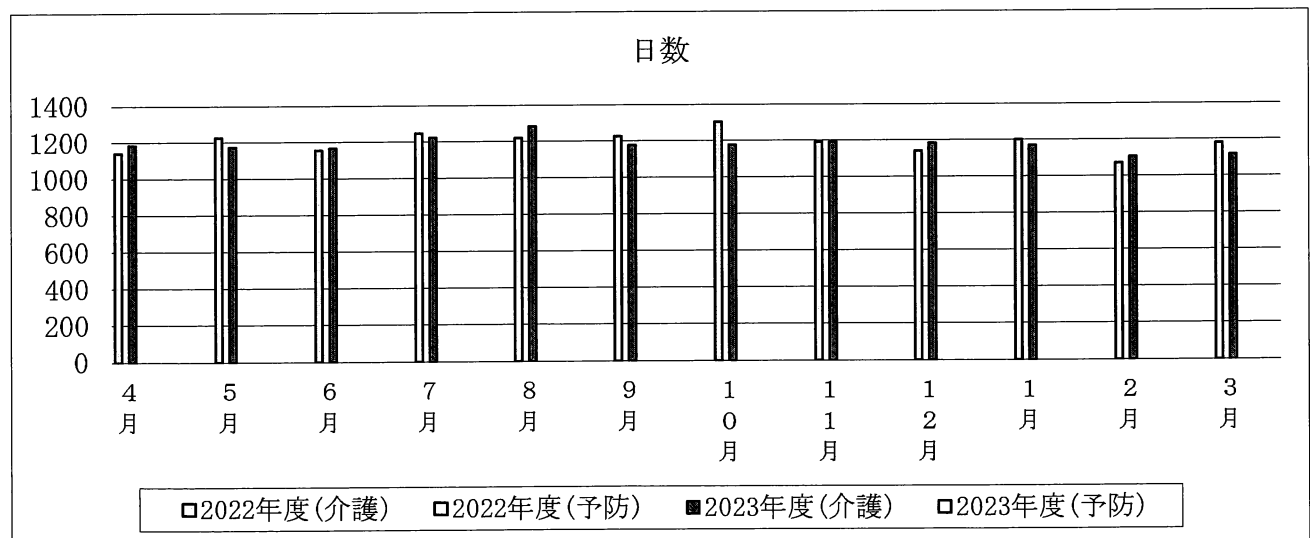
■ 2022年度及び2023年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2022年度(予防)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
2022年度(介護)	45人	48人	49人	50人	50人	46人	48人	50人	46人	51人	48人	47人	578人
2023年度(予防)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
2023年度(介護)	50人	47人	48人	51人	50人	48人	49人	51人	49人	45人	48人	46人	582人
2022年度/2023年度	111.1%	97.9%	97.9%	102.0%	100.0%	104.3%	102.0%	102.0%	106.5%	106.2%	100.0%	97.8%	102.3%



■ 2022年度及び2023年度利用延べ日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2022年度(予防)	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
2022年度(介護)	1143日	1226日	1155日	1247日	1217日	1225日	1304日	1189日	1140日	1200日	1070日	1179日	14295日
2023年度(予防)	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
2023年度(介護)	1182日	1173日	1165日	1221日	1283日	1176日	1178日	1191日	1183日	1169日	1105日	1171日	14197日
2021年度/2022年度	103.4%	95.6%	100.8%	97.9%	105.4%	96.0%	90.3%	100.1%	103.7%	97.4%	103.2%	99.3%	99.4%



Ⅲ. 通所介護事業（デイサービス）

総括

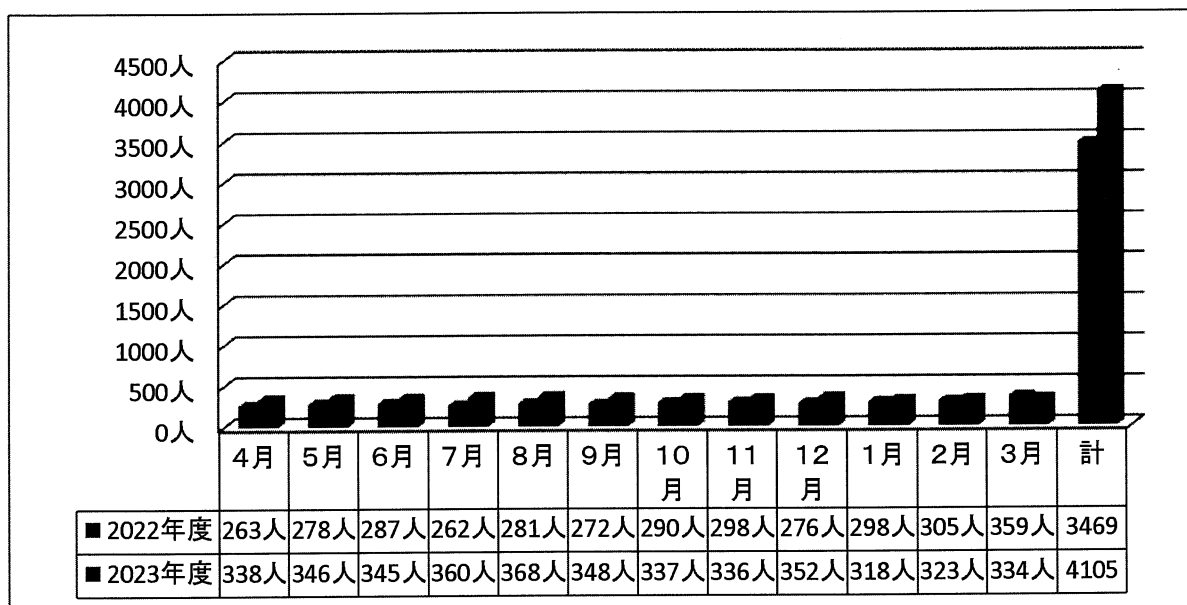
2023年度のデイサービスの稼働実績・利用人数は、総合事業（要支援者）・通所介護（要介護者）の合算で延べ利用人数は4,105名（前年度比636名増）であった。

利用率は前年度から比較すると119%と15ポイント上回り、稼働率は56%から66%と10ポイント増
 デイサービスのご利用者は継続率が高いが体調不良や入院などがあると、稼働率は向上しない。

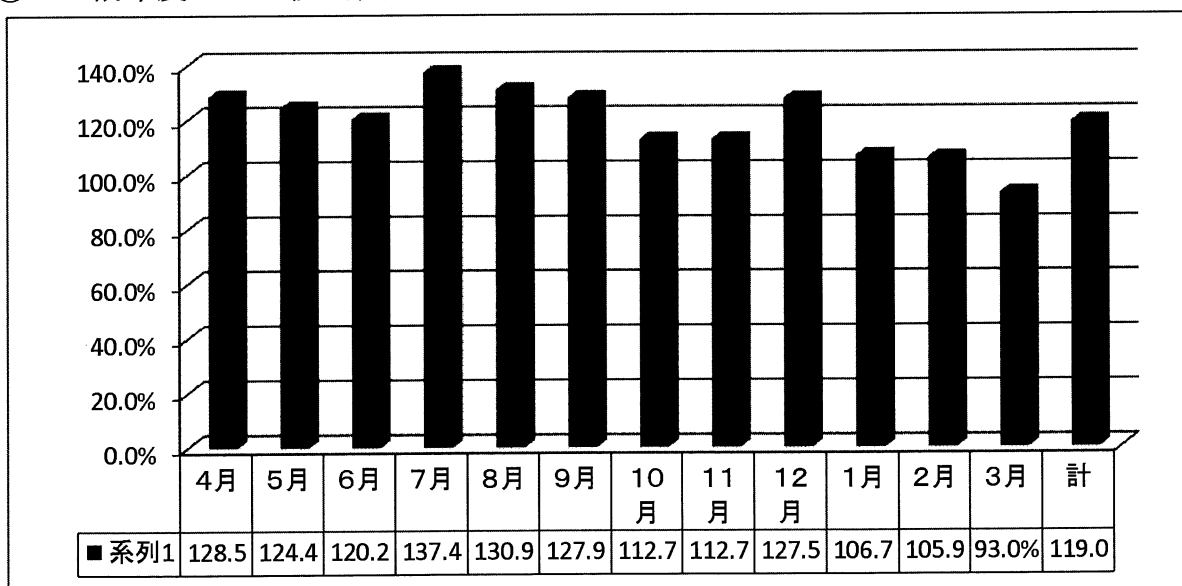
利用率の高い利用者が入院やコロナ感染してしまうと利用できなくなり、稼働率は減少してしまう。

今後も外部の居宅介護支援事業所等に多く訪問し、デイサービスの日々の取り組みなどをアピールしていき、意見交換を活発化させ、どのように利用者を獲得していくかサニーヒル全体で考えていき、地域から信頼され必要とされる事業所として利用者や地域から高い評価を受けられるように日々研鑽に努める。

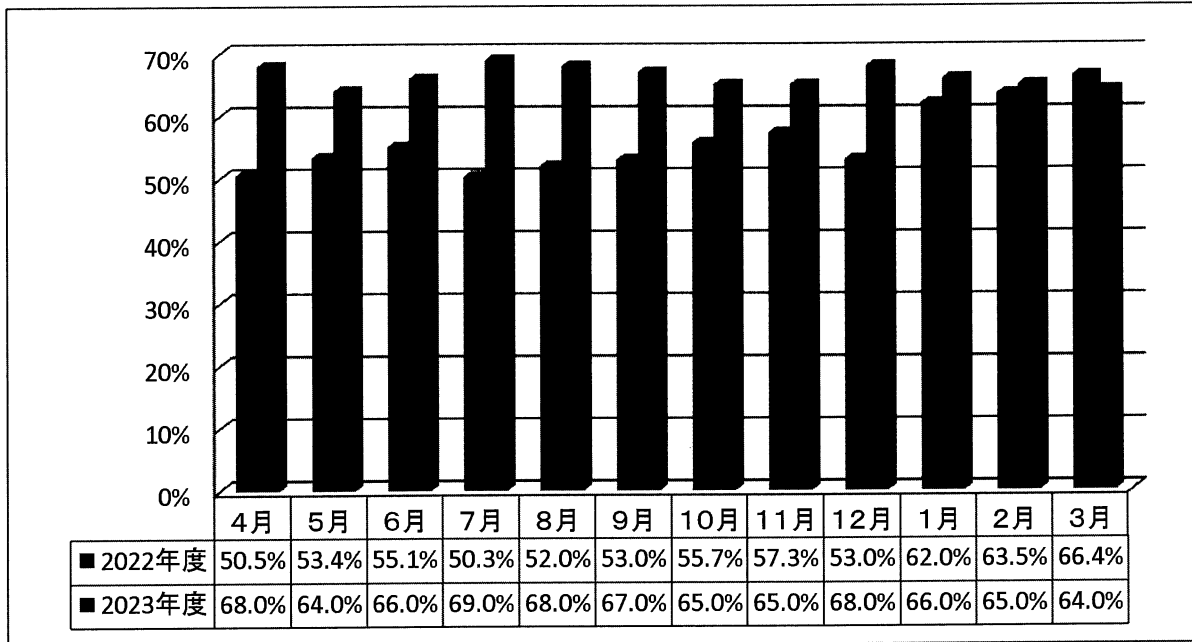
① <2022年度及び2023年度利用延べ人数比較>



② <前年度との比較（利用率）>



③ <2022年度及び2023年度稼働率比較>



④ <2023年度要介護度状況>

介護度別利用状況

2022年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	63	48	132	127	34	34	3	441
割合(%)	14.3%	10.9%	29.9%	28.8%	7.7%	7.7%	0.7%	100%
2023年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	86	78	190	106	26	62	4	552
割合(%)	15.6%	14.1%	34.5%	19.2%	4.7%	11.2%	0.7%	100%
前年度比	109.0%	129.3%	115.3%	66.7%	61.0%	145.4%	1.0%	98.7%

介護度別利用状況の合計人数は利用者の数が昨年度よりも111名増となり、稼働率と共に増加しており、利用者一人当たりの利用回数が前年よりも増えたことが挙げられる。利用率は前年比で119.0%となり、デイ利用率は増えた結果となった。

稼働率は、昨年度と比較すると増加しており、通年では10ポイント増加した。

介護度別に見ると、要支援1が86名・要支援2が78名・要介護1が190名
要介護2が106名・要介護3が26名・要介護4が62名・要介護5が4名となった。

2023年度行事実績

	主 な 行 事	定 期 行 事	そ の 他
4月	桜お花見・チューリップ見物・お茶会	誕生会	
5月	鯉のぼり見物・お茶会	誕生会	
6月	紫陽花見物・あじさいおやつ・梅ジュース作り	誕生会	
7月	七夕おやつ・夏野菜収穫	誕生会	
8月	夏祭り	誕生会	
9月	敬老会	誕生会	
10月	ハロウィンゲーム大会・ケーキバイキング	誕生会	
11月	焼き芋おやつ	誕生会	
12月	忘年会・クリスマス	誕生会	
1月	カルタ大会・おみくじ	誕生会	
2月	節分・バレンタインおやつ	誕生会	
3月	ひな祭りおやつ・春のお彼岸・桜おはぎ実演	誕生会	

IV. 居宅介護支援事業（居宅介護支援センター）

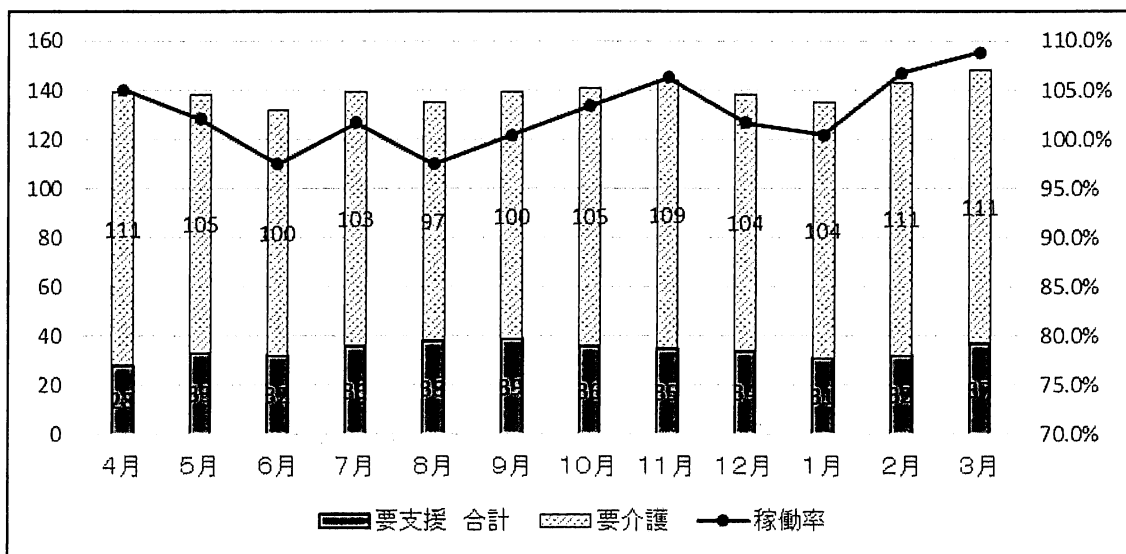
1. 利用実績

（令和5年4月～令和6年3月の給付管理実績）

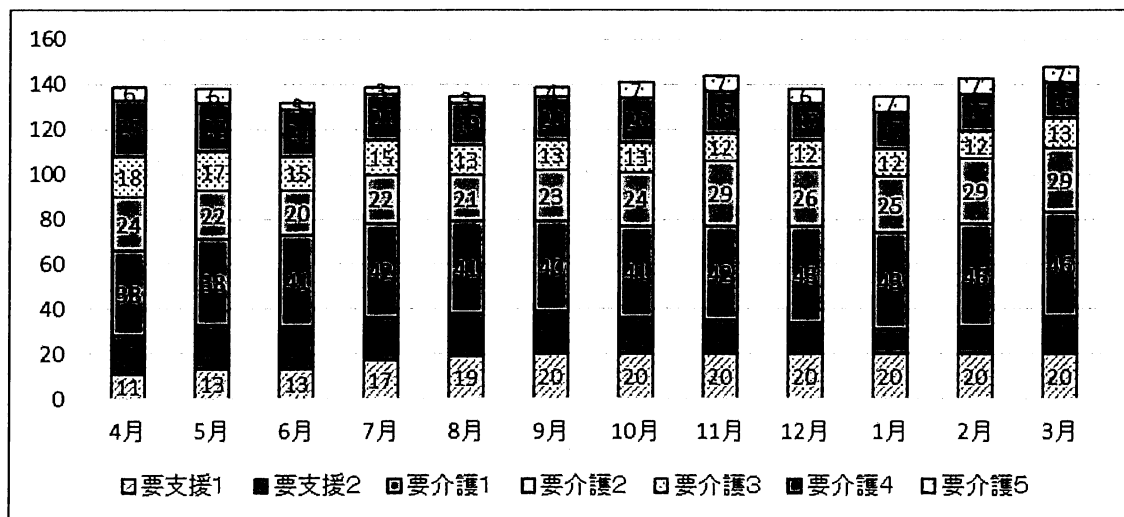
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	111	105	100	103	97	100	105	109	104	104	111	111	1260
要支援	28	33	32	36	38	39	39	36	34	31	32	37	411

令和5年度の給付管理実績は要介護1260件（昨年度1268件）、要支援411件（昨年度358件）、計1671件であった。総計画作成件数は、1465.5件（※要支援は0.5件で計上）で、前年度実績より18.5件増加。月平均も122.1件で、前年度と比べ1.44件増加している。年度平均稼働率は102.6%で前年度実績を1.3%上回った。

外部研修も新型コロナウイルス感染拡大以降はオンライン型が多くなったが、参集型で開催されるものもあった。令和5年度もケアマネ各自が積極的な参加を維持し、これまで同様に新たな知識の習得、自己研鑽に努めた。また、法令を遵守し、質の高いケアマネジメントを実践することができた。



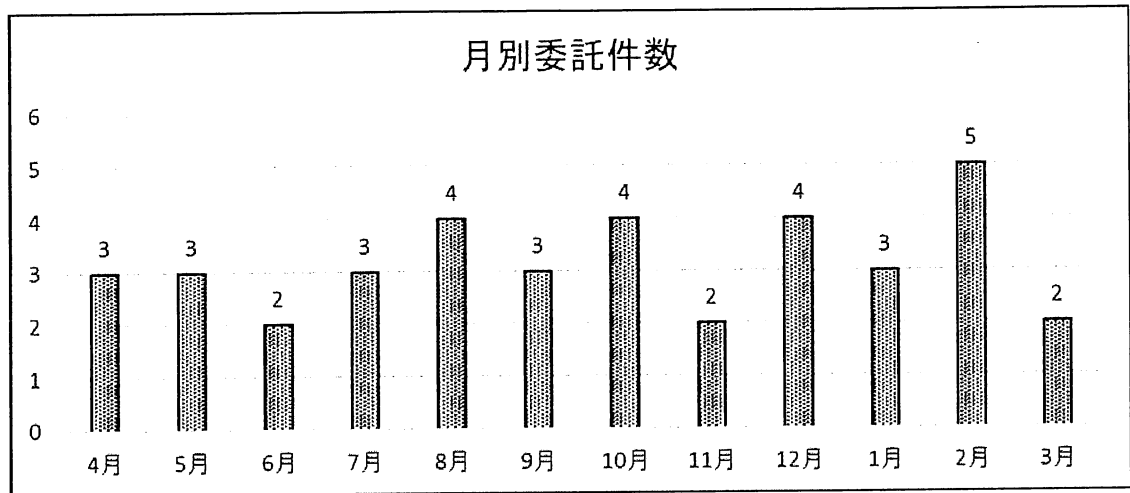
2. 介護度別利用者数



年度末時点で要支援者の割合が 25%、要介護 1～2 の割合が 51%、要介護 3～5 の割合が 24%となっている。

3. 要介護認定訪問調査委託事業（委託業務）

今年度も、各保険者からの依頼に応じて積極的に請け負い実施した。件数は 38 件であった。今後も各保険者と連携のもと訪問調査を行っていききたい。



給与栄養量

R5. 4. 1～R6. 3. 31

月	熱量 kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	ビタミン				食塩 g
					レチノールμg	B1 mg	B2 mg	C mg	
R5.4	1,402	63.7	35.5	560	803	0.99	1.1	1.02	8.5
7	1,429	61.1	38.4	547	835	0.88	1.07	106	7.6
10	1,421	64.2	35.3	568	800	1.05	1.12	101	8
R6.1	1,425	63.4	38.9	680	790	0.98	1.09	103	7.9
月平均	1,419	63.1	37.0	589	807	0.98	1.10	78	8.0
摂取基準量	1,400	60	40	700	800	1.20	1.30	100	8

主食種類別状況

R6. 3. 31現在

区分	流動食 (濃厚)	粥ムース	全粥	軟飯	ご飯	計
A・B棟	0	6	24	23	22	75
C棟	0	7	15	10	11	43

副食種類別状況

R6. 3. 31現在

区分	常食	一口大	きざみ	極きざみ	ムース	流動食 (濃厚)	計
A・B棟	23	16	19	17	4	0	79
C棟	5	8	12	10	4	0	39

入所者嗜好調査結果

令和6年3月31日

食品名	食べられない人	代替食
納豆	10名	卵料理、肉団子
パン	18名	ごはん、粥
麺類	9名	ごはん、粥
刺身	2名	甘塩鮭
鯖	1名	鯖、カレー、卵料理
肉	3名	卵類、魚缶類
ふりかけ	5名	のりの佃煮、鯛みそ
梅干し	4名	塩分制限の為なし

※昨年と比較すると更なる若年化の傾向がみられ、自力摂取できる方々が増えたように思える。それに伴い昨年よりもご飯や軟飯の方が増えている傾向がみられた。また、体重減少の方をリストアップし、多職種で栄養について話し合い、改善していく動きが出てきてからは低体重の方や、体重減少傾向の方が減少してきている。

しかし、認知症の進行により、生活時間の乱れ、食事の認識力低下による食事拒否、食事動作の問題、嗜好面の意思表示の低下、味覚の鈍化、摂食嚥下障害など様々な問題が存在する現状もある。

上記影響による様々な要因からの摂取量の低下により、必要エネルギー量の確保が困難となってきているケースもある。そこで、利用者様一人一人の嚥下を含めた全身状態を多職種で把握、共有し、個人に合った食事形態及び食事内容で提供し、献立自体も、食べやすく高齢者の嗜好に合った物を検討することで、食事摂取量改善ができるよう努めている。また、食事のみでは困難と判断された場合は栄養補助食品等も活用し栄養状態の維持に努めている。しかし、主食の麺類、パサついてばらけるもの、硬い物等が摂取困難のため禁止食となるケースが増加傾向を示し、食事メニューの選択幅が減少しているのが現状である。より経口摂取の重要性を理解してもらい、より食事から栄養を摂取できるよう食べやすさ、食事面では飲み込みやすさを考慮した上で、高齢者の方々が楽しみ、喜べるメニューが日常的に提供できるように多職種で連携していくことが重要となっている。

今後とも摂取量の改善、体重減少の予防を目的に多方面からのアプローチで低栄養・やせを改善、予防に努めていきQOLの低下を予防していきたい。

行事食の状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

行事	月日	献立内容
花見	4月7日	お汁粉 ABC棟：お花見
創立記念日	5月12日	紅白饅頭 昼食：オムライス, 煮物, 3色ゼリー
夏祭り	7月24日	A棟2階 焼きそば, たこ焼き, わたあめ,
	7月24日	A棟3階 かき氷, ソースせんべい
	7月17日	B棟 焼きそば, かき氷, ジュース, 駄菓子
	7月21日	C棟 焼きそば, 焼きトウモロコシ, かき氷, ポテト, わたあめ, ジュース
敬老会	9月19日	昼食：赤飯, 天ぷら盛合せ, 肉詰めいなりの含め煮, ほうれん草のお浸し, お吸い物, 芋ようかん A棟 寿おやき, 果物とゼリー盛り合わせ, お煎餅, 駄菓子, お茶
	9月22日	C棟1階 C棟2階 昼食：松花堂弁当, お吸い物, 和菓子(芋羊羹)
	9月25日	B棟 赤飯, 清汁, 天ぷらの盛り合わせ, 生姜焼き, 根菜煮, ムース フルーツ, 和菓子, お煎餅, 駄菓子, チョコレート, お茶
お彼岸	9月23日	おはぎ(代替食：お汁粉)
クリスマス 忘年会	12月25日	A棟2階：かやくご飯, コンソメスープ A棟3階 ビーフシチュー, ツリーサラダ, クリスマスゼリー
	12月24日	B棟・C棟1階・C棟2階 コーンご飯, コンソメスープ, タンドリーチキン, ミモザサラダ, イチゴムース おやつ：クリスマスケーキ, 紅茶
年越しそば	12月31日	昼食：年越しそば, ふんわり天, 果物缶
お正月	1月1日	昼食：赤飯, 清汁, おせち盛り合わせ, 根菜煮, 果物缶 甘酒, お餅風ムース, だらやき, 和菓子, お汁粉
七草粥	1月7日	朝食：七草粥, 味噌汁, 高野豆腐の煮物, いんげんサラダ

節分	2月3日	A・B・C棟 昼食：いなり寿司, 清汁, 牛すき焼き風, 五目豆, 果物
ひな祭り	3月3日	A・B・C棟 昼食：ちらし寿司(えび・とびっこ), 清汁, ジャガイモのそぼろ煮, 三色寒天 おやつ：甘酒
お彼岸	3月20日	おはぎ(代替食：お汁粉)
誕生日会	AB棟：月毎に設定 C棟：毎月第4木 曜日	お誕生日ケーキ, お茶

VII. 健康管理

特別養護老人ホームサニーヒル 入院者個別状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	氏名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	K T	2023. 4. 13	2023. 5. 27	46	肺炎・尿路感染
2	K Y	2023. 7. 1	2023. 7. 8	8	肺炎・狭心症
3	T K	2023. 8. 26	2023. 9. 20	36	肺炎
4	K A	2023. 10. 13	2023. 10. 28	16	胆石・胆のう炎疑い
5	S N	2023. 12. 23	2024. 1. 10	19	低栄養・過敏性腸症候群
6	M M	2024. 3. 18	2024. 4. 10	24	脳梗塞
2023年度延べ入院者数 34人 述べ入院日数 621日間					

特別養護老人ホームサニーヒル 入所者の疾患状況

令和6年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	1	15	16
	心疾患	2	8	10
呼吸器系	気管支喘息 他	0	3	3
中枢神経系	脳梗塞	3	11	14
	パーキンソン病	0	0	0
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	1	11	12
消化器系	急性・慢性胃腸炎	1	6	7
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	2	9	11
内分泌系	糖尿病	1	3	4
泌尿器系	前立腺肥大症	0	0	0
	腎不全	3	3	6
眼科系	失明	0	2	2
	白内障	0	1	1
合 計		14	72	86

※合併症を含む

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入院者個別状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	氏名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	A H	2023. 6. 10	2023. 6. 13	4	出血性膀胱炎の疑い
2	K T	2023. 6. 15	2023. 7. 14	30	肺炎
3	S K	2023. 7. 11	2023. 7. 29	19	肺炎・敗血症
4	H N	2023. 7. 28	2023. 8. 13	17	肺炎
5	A A	2024. 2. 27	2024. 3. 30	23	尿路感染・肺炎
6	T S	2024. 3. 19	2024. 4. 10	23	貧血・褥瘡
2023年度延べ入院者数 7人 述べ入院日数 130日間					

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入所者の疾患状況

令和6年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	4	18	22
	心疾患	1	4	5
呼吸器系	気管支喘息 他	0	0	0
中枢神経系	脳梗塞	3	6	9
	パーキンソン病	1	1	2
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	1	1
	骨粗鬆症	0	16	16
消化器系	急性・慢性胃腸炎	1	4	5
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	2	6	8
内分泌系	糖尿病	1	3	4
泌尿器系	前立腺肥大症	2	0	2
	腎不全	1	0	1
眼科系	失明	0	0	0
	白内障	1	3	4
合 計		17	62	79

※合併症を含む

VIII. 施設実習及び地域交流

介護実習等施設受入れ実績

年間を通じた実習生の延べ人数は下表に示す通り、専門学校等実習生受け入れは、新型コロナウイルス感染症の影響や養成校からの受け入れの依頼がなかった為、0人である。昨年度は、初めて君津中央病院附属看護学校から看護実習生の受け入れを行い6名の実習生の受け入れを行った。

福祉短大・専門学校	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
富浦学園	0名（0名）	0日（0日）
京葉介護専門学校	0名（0名）	0日（0日）
東京福祉専門学校	0名（0名）	0日（0日）
計	0名（0名）	0日（0日）

看護師養成校	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
君津中央病院附属看護学校	7名（6名）	21日（14日）
計	7名（6名）	21日（14日）

ボランティア受入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
延べ人数	2人	2人	2人	2人	2人	2人	12人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	2人	2人	2人	2人	2人	2人	12人

年間受入れ延べ人数	24 人
-----------	------

※前年度実績 24人

クラブ活動状況

クラブ名	1回あたりの参加人数			指 導 者 名	開 催 状 況
	男 性	女 性	合 計		
生け花クラブ	5人	21人	26人	鈴木 江美子	月2回
書道クラブ	2人	8人	10人	岩井 綾子	月2回
陶芸クラブ	3人	7人	10人	内山 輝夫	月2回

IX. 行事運営等活動及び保守整備状況

年間行事運営活動実績一覧

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等	理事会・評議委員会
4 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 入所者定期検診 (春季) (年1回実施) ※血圧測定、 健康相談随時 職員(直接処遇) 定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	お花見 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 身体拘束廃止委員会	
5 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員(直接処遇) 定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 キュービクル定期点検	端午の節句 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 創立記念日 陶芸クラブ	給食会議 生活支援会議 ケース会議 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会	
6 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 冷暖房切替 消防設備点検 地下貯蔵タンク清掃	陶芸クラブ 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会	6月8日月曜日 第1回理事会 議案1 令和4年度事業報告 議案2 令和4年度収支決算書 議案3 定款並びに経理規定の変更 議案4 新役員候補選出 議案5 定時評議員会の不開催通知の案内 6月23日月曜日 第1回評議員会 議案1 令和4年度事業報告 議案2 令和4年度収支決算書 議案3 定款並びに経理規定の変更 議案4 新役員候補選出
7 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	七夕会 夏祭り 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	全体会議 生活支援会議 ケース会議 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 身体拘束廃止委員会 給食会議	

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等	理事会・評議委員会
8 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 避難訓練	誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会	
9 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 職員定期検診 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	敬老会 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会	
10 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 キノシールド	誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 身体拘束廃止委員会	
11 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練	誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会	

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等	理事会・評議委員会
12 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	忘年会 クリスマス会 生け花クラブ 陶芸クラブ 書道クラブ	生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会	
1 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	初詣 新年会 鏡開き 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 経営会議 感染症対策研修 介護認定調査委員現任研修 介護認定審査会委員研修 身体拘束廃止委員会	
2 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	節分 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議、給食委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会 経営会議 指導監査	
3 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練 消防設備点検	雑祭り 誕生会 お茶会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 ケース会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 経営会議 感染症対策委員会	3月1日水曜日 第3回理事会 議案1 令和4年度第1次補正予算案 議案2 令和5年度事業計画 議案3 令和5年度収支予算計画面案 議案4 A棟入浴施設大規模修繕 議案5 指導監査結果報告 3月8日水曜日 第2回評議委員会 議案1 令和4年度第1次補正予算案 議案2 令和5年度事業計画 議案3 令和5年度収支予算計画面案 議案4 A棟入浴施設大規模修繕 議案5 指導監査結果報告

設備機器導入ならびに保守整備状況一覧

年 月	件 名	内 容
5. 5	・ 厨房フードプロセッサ	・ 調理業務の効率アップの為
5. 7	・ デイサービス送迎車両	・ デイサービス送迎業務効率アップの為
5. 8	・ サーボクレープ(消毒器)	・ 経年劣化による交換入れ替え
5. 8	・ 二酸化塩素薫蒸缶	・ 経年劣化による交換入れ替え
5. 1 2	・ 小型冷蔵ショーケース	・ 経年劣化による交換入れ替え